

表紙説明

神戸市西区で発生したカバマダラ

2002年10月6日立岩氏(本文参照)から連絡をうけ、現地に駆けつけた。

食草のトウワタは、池の堤の下、南西に開けた日のよくあたる平らな場所に群生し、数十頭の成虫が堤やトウワタの花畑を飛び交っており、水田風景をバックに交尾写真の撮影にも成功した。

トウワタは、数年前に地元の方が播種され、昨年はずかに数株であったのが、今年爆発的に生育したもので、2箇所(約10㎡、5㎡)で、それぞれ数十株がびっしりと育ち、満開であった。

その後10月12日、18日の観察でも交尾、産卵、若齢・終齢幼虫・蛹と全てのパターンが見られた。

11月に入ると寒波が襲来し、12月並の寒い日が続き、さすがに成虫は見られなくなったが11月3日、10日の観察でも若齢・終齢幼虫・蛹が多数観察できた。

兵庫県でカバマダラが確認出来たのは1985年以来17年ぶりである。
(近藤伸一)